

児玉議員（自民会議）

平成 27 年 2 月 16 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）広島版「学びの変革」アクション・プランについて

昨年 12 月に策定された広島版「学びの変革」アクション・プランは、本県における教育現場の取組や考え方に対する印象を大きく変える重要なプランであり、「グローバル化する社会を生き抜くための新しい教育モデル」について、これから、いかに県民の理解を得ていくのかが、重要なポイントになるのではないかと思う。

平成 27 年度の当初予算には、プランに基づく取組として、児童・生徒を系統的に育成する事業予算を計上するほか、教員の養成に力を入れるなど、学校現場においてプランの理念がスムーズに浸透するよう、工夫されているが、県民には、これまで進めてきた教育施策に対するイメージが染みついているため、プランに対する理解が得られなければ、いくら学校の取組に変化をもたらすことができたとしても、逆に家庭や地域と学校とのギャップを生みかねないと思う。また、これまでのようなフォーラムの開催だけでは、一部の教育関係者にしか情報は伝達できない。

県内の保護者、さらにこれから子供を持つとする夫婦、あるいは広島県へ住もうとする県外の若い人たちに至るまで、子供たちの教育に関係する、または、これから関係すると思われるすべての県民・国民に対して、本県のプランの目指す姿や取組を、いかに正しく理解してもらうかが重要だと思うが、これからの「戦略的な広報」を、どのように展開していくつもりなのか、教育長に伺う。

（答）

広島版「学びの変革」アクション・プランは、これまでの知識ベースの学びに加え、主体的な学びを促す教育活動を充実させることにより、グローバル化する 21 世紀の社会を、子供たちがたくましく生きていくための資質・能力の育成を目指すものであり、本県教育のこれまでの取組を更に深め、発展させるものでございます。

このアクション・プランを円滑に推進するためには、教育関係者はもとより、保護者や地域など県民の皆様に対し、その趣旨を丁寧に説明し、理解を

得ながら取組を進めることが極めて重要であると考えております。

そのため、まずは、アクション・プランが目指す方向性や意義などについて、市町の教育委員会や教職員などと共有するため、有識者を招いての公開討論会などを開催することとしております。

また、保護者をはじめ県民の皆様に対しましては、広報誌「くりっぷ」や県教育委員会ホームページによる周知を行うとともに、「ひろしま教育の日」フォーラムや、学校現場での取組の成果を発表するイベントなどの機会を通じ、子供たちが主体的な学びを通して成長していく姿を紹介し、情報発信をしてまいります。

さらに、各市町のイベントやPTAの集まりなどにも、県教育委員会の職員が積極的に出向くなど、様々な機会を活用し、県内外のより多くの方々に「学びの変革」について理解を深めていただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。